

2021年度 学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）に照らした学修成果に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学修成果の把握（学科／研究科専攻の学位授与の方針）」のデータを活用して検証を行った。当学科の学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）を参照のこと。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

2021年度 保健看護学科「学修成果の把握」報告書

1. 各学年の分析対象数は、1年生が74名（87.1%）、2年生が50名（82.0%）、3年生が28名（32.2%）、4年生が46名（51.7%）であった。
2. 全学年を通して、全ての項目及び学年において平均2.5以上であった。
3. 全学年を通して高得点の項目は、努力する態度（4.0）、コミュニケーション能力（4.0）、協働（3.9）、多様性（3.8）であった。低得点の項目は科学的・論理的思考（3.5）、生命の尊厳（3.7）、創造性（3.7）倫理観（3.7）であった（図1）。
4. ほぼ全ての項目において、学年があがるにつれ平均点が上昇しており、学生は着実に学修を深めていると思われる。低得点であった科学的・論理的思考、人間理解、生命の尊厳については新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全学年臨地実習が制限され、対象者理解のための実践場面が減少したことや、学生同士が直接意見交換を行う機会が減少したことによる影響を受けたと思われる。しかし、努力する態度やコミュニケーション能力は高得点となっており、オンライン授業や自宅学習においても意欲を保ち、懸命に学修に取り組んでいたと思われる。また、限られた対面授業や臨地実習において他者とのコミュニケーションや協働の重要性も学ぶことができたと思われる。今後も教員は、社会状況に応じて工夫した授業や実習を行い、学生がより積極的に学べるよう取り組む必要がある。

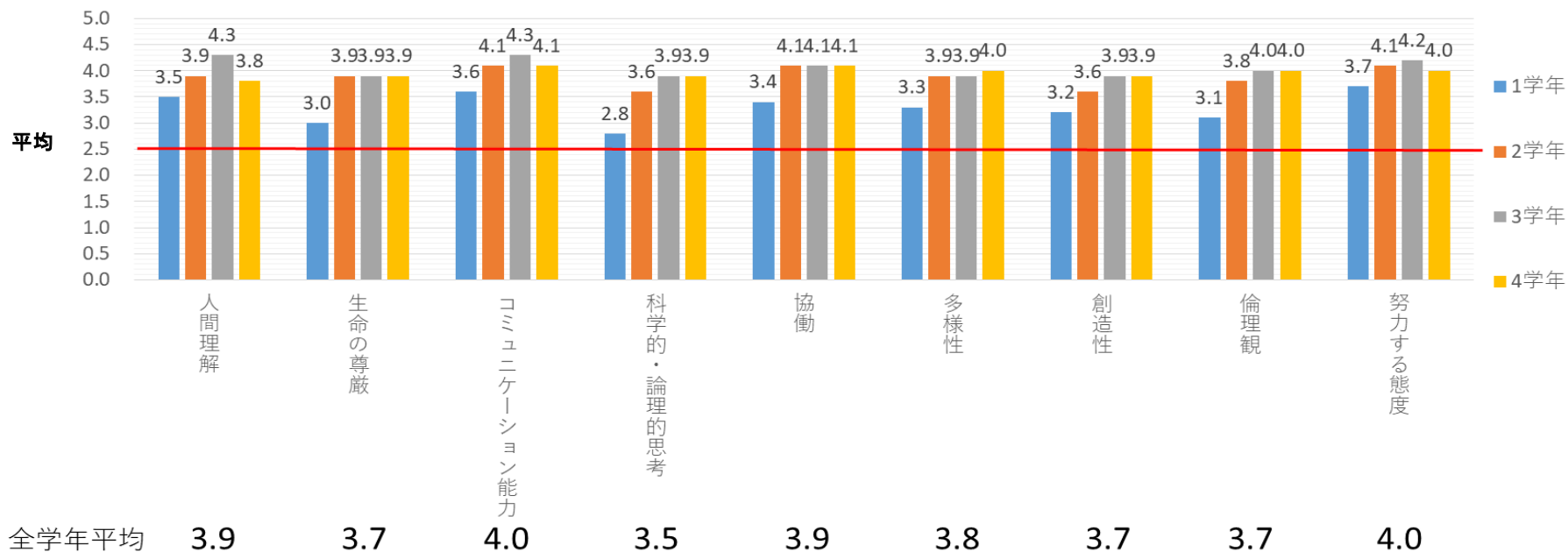


図1) 学習成果の把握（学科目標 学位授与方針）